

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.2
Q1 室内環境			0.40					3.1
1 音環境		3.0	0.15	-	-			3.0
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-			
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-			
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0	-			
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-			
2 温熱環境		3.2	0.35	-	-			3.2
2.1 室温制御		3.5	0.50	-	-			
1 室温		3.0	0.38	3.0	-			
2 外皮性能	窓U=2.4(Low-eガラス+ブラインド) 外壁U=0.59(断熱パネル)	5.0	0.25	3.0	-			
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-			
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-			
3 光・視環境		2.7	0.25	-	-			2.7
3.1 昼光利用		1.8	0.30	-	-			
1 昼光率		1.0	0.60	3.0	-			
2 方位別開口		-	-	3.0	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-			
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-			
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-			
3.3 照度	750lx以上	4.0	0.15	3.0	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-			
4 空気質環境		3.3	0.25	-	-			3.3
4.1 発生源対策		3.0	0.50	-	-			
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	-			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.3	0.30	-	-			
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-			
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-			
3 取り入れ外気への配慮	空気取り入れ口の排気口との離隔6m以上	4.0	0.33	3.0	-			
4.3 運用管理		4.0	0.20	-	-			
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-			
2 喫煙の制御	全館禁煙にて喫煙所は建物に内部に設置しない	5.0	0.50	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.4
1 機能性		3.1	0.40	-	-			3.1
1.1 機能性・使いやすさ		2.3	0.40	-	-			
1 広さ・収納性		1.0	0.33	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		2.0	0.33	3.0	-			
3 バリアフリー計画	建築物移動等円滑化誘導基準の最低基準を満たしている	4.0	0.33	-	-			
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30	-	-			
1 広さ感・景観	執務スペースCH=2.8m	4.0	0.33	3.0	-			
2 リフレッシュスペース	執務スペースの6%のリフレッシュスペースがあり自動販売機等を設置している	5.0	0.33	-	-			
3 内装計画		3.0	0.33	-	-			
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	風除室1次扉と2次扉間距離を3m確保、防汚性高いビニル床シート採用	4.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.6	0.30	-	-			3.6
2.1 耐震・免震		3.8	0.50	-	-			
1 耐震性	重要度係数を1.25とする	4.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.5	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	屋外露出ダクトはガルバリウムダクトを採用している	4.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:VLB(B)、汚水排水VP(B)、冷温水SGP(D)、Eは不使用	5.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			

2.4 信頼性				3.6	0.20	-	-	
1 空調・換気設備	中央監視設備を採用し、系統毎の発停操作が可能			4.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備	節水型器具を採用。災害時用として非常用排水槽を計画している。			5.0	0.20	-	-	
3 電気設備				3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備				3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				3.4	0.30	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり				4.6	0.30	-	-	
1 階高のゆとり	4.2m以上			5.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.19			4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性				3.0	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出				2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮	道路や川側からの見える外装・質感を良好なまちなみに調和させた			4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮				4.0	0.30	-	-	4.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	屋上3を避難施設として提供(津波避難対策)			4.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	空地率 = 69.89%、緑被率 = 30.62%			4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.8
1 建物外皮の熱負荷抑制	BPI=0.890			4.1	0.20	-	-	4.1
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	BEI 非住宅 1.00 住宅(専有部) -			4.0	0.50	-	-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)	LED照明設備の採用			4.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)				-	-	-	-	
4 効率的運用				3.5	0.20	-	-	3.5
集合住宅以外の評価				3.5	1.00	-	-	
4.1 モニタリング	電力量、給水量などをモニタリングし中央監視等で妥当性確認が可能			4.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	
4.1 モニタリング				3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.6
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水	自動水洗及び節水型便器を採用			4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.8	0.60	-	-	3.8
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	床材採用(ビニル床シート、OA707)天井材採用(岩綿吸音板)			5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上材のデーター採用し、OA707を採用している			5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.6	0.20	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用	PRTR法の対象物質を含有しない建材種別が4つ以上ある			5.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-	
1 消火剤				-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50	-	-	
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率 = 92%			3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.3	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減				-	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.33	-	-	
3 交通負荷抑制	駐車スペース、管理用車両の駐車施設及び待機スペースを設けている			4.0	0.33	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制				3.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1 騒音				3.0	0.50	-	-	
2 振動				3.0	0.50	-	-	
3 悪臭				-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制				3.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告照明を行ってない			4.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	